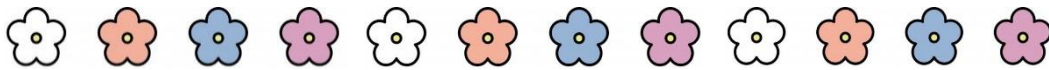




うさぎぐみだより 3月号

穏やかな日の光が嬉しい季節になりました。子ども達は「自分でできるで!」「次はあかぐみさんやな!」「僕最後までやってみる!」など自信をもって色々な活動に取り組んでいます。この一年で大きく成長した子ども達の姿を嬉しく、頼もしく感じているこのごろです。



【待ちに待った遠足】



子ども達は、遠足を楽しみにしていて、「恐竜のお弁当箱なの!」「きゅうり入れてもらうんだあ!」と楽しみにしていました。

当日、登園して来ると自分のお弁当の包みを出して「みてー!」と嬉しそうに見せ合っている子ども達でした。ワクワクした気持ちを胸に子ども達はいつもより早く用意を済ませていました。

今回は好きなおやつカードを選び畑でそのカードを出しておやつを食べました。いつもと違う雰囲気に大喜びでした。おやつを食べ終わると、畑で鬼ごっこをしたり、タンポポやホトケノザを観察したり、クラスの友達と一緒に過ごす時間を楽しんでいました。

帰ってからは宝さがしをしました。「ここにもあるで!」と教えてあげたり、まだ1つも見つけられていない子に自分が見つけたシールを「これあげる!」と譲ってあげたりする子も見られました。メダルに自分で見つけたシールを思い思いに貼り付け「みて!」と友達同士で嬉しそうに見せ合っていました。

お弁当は園庭でみんなで輪になって食べました。「おいしいね!」「ママ・おかあさんありがとう!」と嬉しそうにご飯を頬張っていました。



保護者の方々にはたくさんのご理解とご協力をいただき、心より感謝しております。子ども達は、この一年間で色々なことができるようになりました。本当に嬉しい気持ちでいっぱいです。これからも保護者の方と共に子ども達の健やかな成長を見守っていきたいと思います。ありがとうございました。

加茂結香 松尾梨央